

マイクロサテライトDNA解析による親子判別法の栽培漁業研究への応用

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産総合研究センター
	公開日: 2024-11-28
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 関野, 正志
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012408

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



マイクロサテライトDNA解析による 親子判別法の栽培漁業研究への応用

海区水産業研究部

研究の背景・目的

1. 栽培漁業の推進上、人工種苗の遺伝的多様性モニタリングと放流効果の正確な見積もりが重要
2. 従来の外部標識法やALC標識法の欠点を補う放流魚の正確な識別法の開発・導入

研究成果

1. マイクロサテライトマーカーを使ったヒラメの親子判別技術により、親魚の再生産への貢献度の測定が可能（図1）
2. 本手法により、ヒラメ放流魚の正確な特定が可能
3. 本手法を用いたヒラメの放流及び再捕時の家系比較から、50-100mmサイズ種苗では生残に及ぼす家系の違いは小さいと予想（図2）

波及効果

1. 放流効果の正確な検証手法
2. 栽培漁業における遺伝的管理のあり方

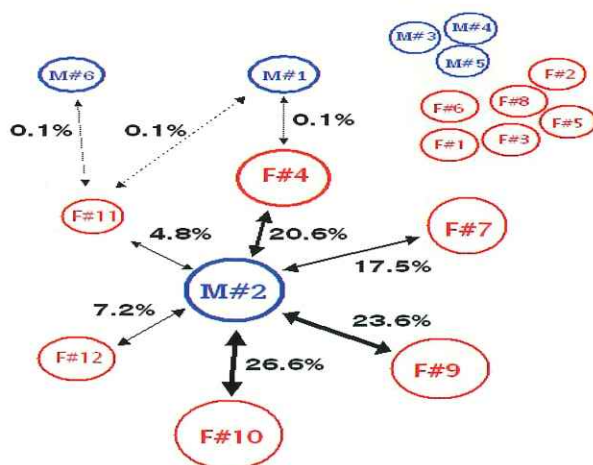


図1. ヒラメ人工種苗(736匹)の親組み合わせと各家族の大きさ(%)
メス親はF#番号, オス親はM#番号で示してある。

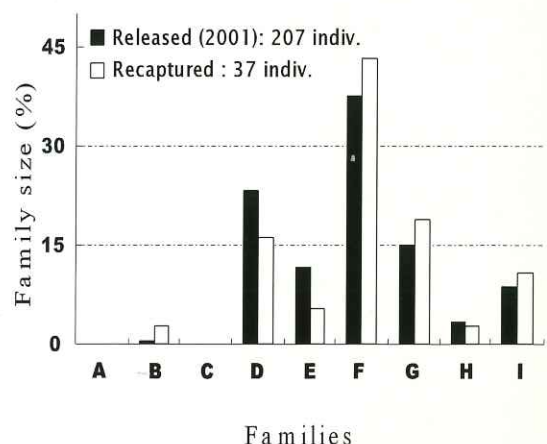


図2. 放流群と再捕群の各家族の大きさ